



お知らせボード

事務所横の登園チェックの上に、ホワイトボードを設置しました。「キッズノート」の配信状況やクラス・事務所からのお知らせなど、いろいろな目的で使用していこうと思っています。登降園の際にはチェックしてくださいね。



空間プロデュース

今年度は、保育園のいろいろな空間を職員そして子どもたちと一緒に考え工夫して楽しい空間にしていこうと計画しています。その第一弾として先日、園庭に棚を設置しました。この中にどんなものを用意していくと、子どもたちがわくわくするかな？と今職員で試行錯誤しているところです。保護者の方もこれから変化していく空間をぜひお子さんとお話しながら一緒に楽しんでいただけたらと思います。また、こんな面白い素材があるよ。とご家庭で眠っているものがあれば、担任に声をかけていただきご提供いただければと思います。



広島市南消防署 警防課 救助係

消さないで あなたの心の 注意の火

火あそび、だめ！



「みみょうの保育方針とコロナ対応」

新年度に入って、早いものでもう1か月がたちます。しかし、中国武漢市から始まった新型コロナウイルスが全世界に蔓延し、日本政府も「緊急事態宣言」を発出して、外出自粛要請、店舗や施設の休業要請、移動制限など、これまで経験したことのない異常事態となっています。経済の影響も深刻であり、その影響は国難ともいえる状況となっています。医療崩壊も深刻で、医療従事者の感染も拡大し医療崩壊が現実のものとなっています。そうした中、学校や幼稚園も臨時休校・休園が5月31日まで延長となりました。子どもたちのストレスはもう限界にきているのではないかと心配をしています。

保育現場では、子どもの育ちの保障と感染拡大防止の狭間に揺れ動いています。なぜならば、子どもたちは、大人や他児とのかかわりの中で揉まれ、五感を通して学びながら様々な力を育み成長していきます。どうしても3密（「密接」「密集」「密閉」）の状態となってしまいますが、コロナの感染拡大とともに3密を避けなければならないという行動制限が求められるようになってきました。しかし、子ども同士がじゃれあって抱き合うなどを禁止する保育、唾などが飛ばないように背中合わせで給食を食べる保育がよいとは決して思えません。保育現場は、子どもが保育士や他児との温かい触れ合いの中で自己の存在感や充実感を味わうことなどを基盤として、しなやかな心と体の発達を促すことをねらいのひとつにしています。むしろ3密の状態が普通なのです。もちろん、常識の範囲内で間隔をあけたり、消毒や定期的に換気をするなど最低限の配慮は必要です。また、みみょうでは、剣道や体操教室があります。小学生クラスは休みにしていますが、園児については、講師の検温、マスク着用、手指消毒、換気をするなど、十分な配慮をしたうえで実施しています。何もかもが感染の危険性があるからダメでは、健全な心身の発達に影響を及ぼすと考えています。どのようにすれば感染予防となり通常の保育を行うことができるのか悩んでいるところです。

行事については、まだ最終決定ではありませんが、保護者総会については書面決議、参観につ

は延期（ただし、録画した子どもやクラスの様子をロビーのモニターに流すことなどを考えています）。運動会についても秋に延期。親子遠足については中止（その代わりに園外保育を増やすことも検討していきます）。小学生交流会も延期。そして、年長児のお泊り保育については、お借りするログハウスを所有する法人内でコロナ感染症が発生したため、用心のため今年度に限っては場所を変えて2月頃に実施する予定で計画をしているところです。

ここまで目に見えないウイルスに翻弄され、社会の動きが止まろうとは誰もが思いもしなかったと思います。我々の生活の価値観や、これまでの常識、考え方は今回に限っては通用しませんが、みみょうの保育は、これまで通り「遊びが学び」という考え方のもと、遊びを中心に子ども主体の保育を実践してまいります。具体的には、教え込む知識の習得よりも、0歳からの丁寧なかかわりを重視し、学びに向かう力、言い換えれば、様々なことに興味を持ち、集中し、持続し、挑戦しようとする意欲を、遊びを通して身につくようにしていきたいと考えています。同時に、みみょうという園名が意味する、一人ひとりの子が、それぞれ持っている個性を発揮して、光り輝く、そのような保育を目指してまいります。

最後になりましたが、登園自粛期間が5月31日まで延期となりました。登園自粛に協力いただいている皆様、感染リスクにさらされる危険性を背負いながら戦っている、医療従事者、福祉従事者、様々なライフラインや生活インフラにかかわっている皆様、その他のお仕事に従事されている皆様に、心から感謝申し上げますとともに、引き続き、感染拡大防止の観点から自粛にご協力いただきますようお願いいたします。

私たちは、コロナなんかに絶対に負けません。早く事態が収束するよう念じてやみません。幸甚な明日を願ってみんなで頑張りましょう！

第二みみょう保育園園長 松尾 竜

子育て応援メッセージ

抱きしめるだけで 愛は伝わる



子どもはお母さんにギュッと抱きしめられると、そこからお母さんの優しいぬくもりがたくさん伝わって、とっともとっても心が落ち着きます。とくに小さい時はたくさんたくさん触れ合ってください。

著：宇津崎光代「大丈夫だよ お母さん」より いろは出版



おーい こいのぼりさん

たけのこって どんなにおい？

季節ならではの経験を子どもたちは 身体いっぱい感じています。